

ウガンダの稲作農家に肥料をデリバリー！ アフリカ生まれのヤマハ発動機グループ会社が農業支援に挑戦 — 株式会社 CourieMate (静岡県磐田市) —

株式会社 CourieMate (静岡県磐田市、松本弘 代表取締役) は、国際協力機構 (JICA) による「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」に採択され、2023年6月よりアフリカ東部ウガンダにて、「農家向けラストマイルデリバリーサービスにかかるビジネス化実証事業」を実施中です。7月から8月にかけて第1回現地調査を行い、実際に稲作農家に肥料を販売して、反応や効果、ビジネスのオペレーションの課題などを調査するテストマーケティング活動などを実施しました。

ウガンダでは、白トウモロコシの乾燥粉をお湯で練った「ポシヨ」やバナナを蒸してつぶした「マトケ」などが代表的な主食ですが、近年、食の嗜好の変化などにより、都市部を中心にコメの消費が拡大しています。しかしコメの自給率は低く、国内での増産を目指すウガンダ政府の働きかけなどにより、小規模農家によるコメの栽培が盛んになっています。他方、小規模の農家では資金不足や農業資材販売店へのアクセスの難しさにより、肥料を中心とした農業資材を十分に投入できていないことから、低い生産量及び収入に留まっている現状があります。

このような課題が存在する中、株式会社 CourieMate は、既に同国においてデリバリーサービスを展開しており、ウガンダ全土に配送網を築いている強みを生かし、村落部で稲作を営む小規模農家に肥料を配送・販売するビジネスコンセプトを練り上げました。農家の資金不足も考慮し、支払いはコメ収穫後の後払いを基本としています(“Buy Now, Pay Later”の取組！)。

本「ビジネス化実証事業」では、テストマーケティングによる小規模農家の受容性及び収益性検証を柱としつつ、顧客ニーズ調査や環境社会配慮などについても調査を進め、最終的には事業計画書をまとめ上げる予定です。JICA では、同じ地域で技術協力プロジェクトとして「コメ振興プロジェクト フェーズ 2」を実施し、コメの生産性と品質向上に向けた研究・普及体制の整備を支援していることから、CourieMate 社の取り組みは同プロジェクトとの相乗効果も期待されます。この取組はSDGsのゴール2, 9及び15に貢献するものです。



農家への事業説明会



肥料配布時の登録作業




農家への肥料配布の様子

(写真提供:株式会社 CourieMate)

【参考リンク】

「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」概要 https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html

<p>【本件に関する問い合わせ先】</p>	<p>日本の真ん中から世界へ JICA 中部</p>  <p>https://www.jica.go.jp/chubu/index.html</p>
<p>JICA 中部企業連携課 担当: 田村</p>	
<p>TEL: 052-533-1387 FAX: 052-564-3751 E-mail: Tamura.Shunsuke@jica.go.jp</p>	